

平成 27 年度の主な取組内容（経営改革プランの取組）

（1）診療部門

① 新規入院患者獲得に向けた連携強化

- ◆ 地域の診療所に対して事業管理者・院長によるトップセールスを実施
- ◆ 「中央病院 連携医制度（仮称）」の創設を検討

② 入院診療単価の増加

- ◆ 後述の循環器系疾患の診療強化による影響が大きい

<入院診療単価 年度比較>

	H27.4~10月	前年同期比
入院診療単価	50,648 円	+2,626 円

③ 医療機器の更新

- ◆ 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）を更新
- ◆ 消費税増税などの影響を勘案し、平成 29 年度に更新を予定している「デジタル X 線血管撮影装置」「CT 装置」の更新時期を 1 年前倒しすることを決定（市財政部局との調整済）

④ 地域医療支援病院の承認取得

- ◆ H26.12 月にタワースを設置し、逆紹介率 70%以上の達成を目標に設定
- ◆ 各現場と意見交換を実施し、抽出した課題の解決を図る取組を実施

<紹介率・逆紹介率 年度比較>

	H27.4~10月	前年同期比
紹介率	54.1%	+5.1%
逆紹介率	55.8%	+5.3%

⑤ 循環器系疾患の診療強化

- ◆ 南都管理者の外来診療開始（H27.8）
- ◆ 循環器内科医師 1 名採用（H27.5）

<循環器疾患 年度比較>

	H27 年 4 月~9 月	前年同期比
症例数	106	+61
延患者数	986 人	+217 人
平均在院日数	9.3 日	▲7.8 日
入院収益	78,786,830 円	+47,510,086 円
診療単価	79,906 円	+39,234 円

⑥ 薬剤師の病棟配置

- ◆ H26.12 月から試行を実施
- ◆ 本格実施に向けて、薬剤師を新たに 2 名採用

(2) 病棟部門

- ① 地域包括ケア病棟の設置
 - ◆ WG を設置し、病床数、転棟基準等を協議（H28.4 月稼動予定）
- ② 重症患者受入病床の設置
 - ◆ WG を設置し、病床数、必要な機器や設備を検討（H28.4 月稼動予定）

(3) 事務・管理部門

- ① 耐震化・老朽化対策
 - ◆ 耐震診断を実施し、耐震改修計画を策定中
 - ◆ 病院機能維持の観点から、受変電設備の改修を計画
- ② 紹介受付日の拡大
 - ◆ 土曜日の診療所からの紹介患者の予約受付を開始（H28. 1 月から実施）
- ③ 契約業務の見直し
 - ◆ 診療材料の一括購入を含めた購入方法の見直しと管理業務の一元化の導入に向けた手続継続中（H28.4 月から導入予定）
- ④ 評価・表彰制度の導入
 - ◆ 前年度（平成 26 年度）において、顕著な業績をあげた下記の部門を表彰
 - ・「皮膚科」
 - ・「臨床工学科」
- ⑤ 「西宮市病院事業経営審議会」の設置
 - ◆ 病院事業の経営についての重要事項の調査及び審議を目的とする附属機関を設置（H28.4 月設置予定）

(4) その他

- ① 給与費水準の適正化
 - ◆ 地域手当の増率の実施時期を繰延べ
（給与制度の総合的見直しの実施時期繰延べについては、H26 年度に労働組合と妥結済。
H27 年度は地域手当の増率が争点となった。）

<西宮市・中央病院・兵庫県 地域手当の支給率 比較>

平成 27 年時点	
西宮市	13 %
中央病院	12 %
兵庫県	8.5%